

平成 31 年 1 月 吉日

和風会会員各位

## 和風会講演会のご案内

謹啓

新春の候、先生方におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、和風会講演会を下記の日程により開催することとなりましたので、ご案内申し上げます。先生方には時節柄ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせのうえ多数のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

尚、ご出席の先生方には大阪府医師会生涯研修システムの 1 単位が認定されます。

また、お車でご来場の際には梅田スカイビル駐車場をご利用下さいますようお願いいたします。

謹白

記

日 時：平成 **31** 年 **2** 月 **22** 日（金）**19:15** より

場 所：エーザイ株式会社 大阪コミュニケーションオフィス 33F

住 所：大阪市北区大淀中 1-1-88

梅田スカイビルタワーイースト 33 階

電話番号：06-4796-0455

<プログラム>

話題提供（19:15 ～）

「抗てんかん薬フィコンパの有用性と位置づけ」 エーザイ株式会社

特別講演（19:30 ～）

座 長：大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室 教授 池田 学 先生

### 「精神科診療で遭遇するてんかん関連事象」

講 師： 防衛医科大学校 精神科学講座

教授 吉野 相英 先生

尚、会終了後、立食による情報交換の場をご準備いたしております。

共催：大阪大学精神医学教室和風会

エーザイ株式会社

抄録

精神科外来には多種多様な「発作エピソード」を訴えて患者が訪れてきます。

こうした発作エピソードはてんかん性と非てんかん性に大別できますが、今回の講演ではてんかんの既往のない患者にみられるてんかん発作エピソード（急性症候性発作）として非けいれん性てんかん重積(NCSE)を取り上げたいと思います。「見えないてんかん重積」ともよばれる NCSE の原因の上位を占めているのが向精神薬ということもあり、精神科診療ではたびたび遭遇します。今までに遭遇してきた症例を紹介しながら、NCSE の症状や脳波について概観いたします。また、未だに診断がつかずにいる悩ましい症例を呈示させていただき、果たしてサブクリニカルなてんかん発作は存在しうるのか、あるいはてんかん代理症という疾患概念は成立しうるのか、という問題について考えてみたいと思います。

■ エーザイ株式会社 大阪コミュニケーションオフィスのご案内 ■

